岡山市議会議員（北区選出）　自由民主党岡山市議団所属

松田たかゆき 市政活動報告 Vol.13

令和4年 春号

ごあいさつ

岡山市における新型コロナウイルスの感染状況については、1月中旬以降、オミクロン株の影響により感染が急拡大し、収束には、しばらく時間を要するようでございます。皆様には、長期にわたり新型コロナとの闘いにご協力いただいており、心から感謝を申し上げます。

議会においても、令和4年度予算編成では、感染拡大防止や地域経済、市民生活への支援に必要な予算を求めてまいりました。

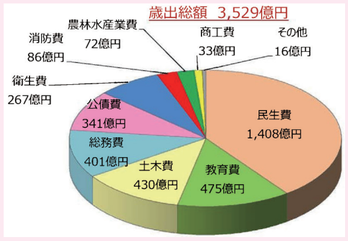
結果、一般会計の予算額は、新型コロナ対策、産業・観光の振興、子育て・教育、デジタル化の推進など、3,529億円と過去最高額となっております。

今回の市政報告【VOL13】では、11月及び2月定例市議会の質問と答弁、ここ半年間の活動の一部をお伝えします。

これからも、皆様方からいただいたご意見やご要望等を市政に反映できるよう努めてまいります。一層のご高配とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

岡山市議会議員　松田隆之

Topic 1 令和4年度当初予算 一般会計



Topic 2 岡山ディスティネーションキャンペーン事業

令和4年7月～9月を本番期間とし、R3年プレキャンペーン、R5年アフターキャンペーン

事業の趣旨・目的

JRと地元自治体等が連携して行う大型誘客キャンペーン「岡山デスティネーションキャンペーン(DC)」の開催にあわせ、市内全域で誘客事業を実施します。

【事業内容】

市内周辺部で、自然・歴史的環境を活かした事業を実施し、広域的な観光誘客を図るとともに、市内中心部で、朝や夜の時間帯に楽しめる事業を実施し、観光客の宿泊を促進

（主な事業）

吉備ロマン循環バスの運行

備中高松城水攻めに関するVR発信、陣屋町足守めぐりと周遊イベント

石山公園のライトアップ事業 など

(DCとは)

目的地を定め集中的に宣伝・送客を行うキャンペーンで、全国の駅にガイドブックの設置、ポスターの掲示など

活動 NEWS

10/28 ビーチファーマーズ起工式

11/10 樋門監査

11/13 老人クラブ（新生会）清掃

11/15 加茂団地交差点改良

11/16 近水園・ボタン植栽

11/20 ESDフォーラム2021

11/26 子ども・文教委員会

12/2 門前団地市道協議

12/12 長池町内草刈り

12/17 山上最終処分場視察

12/17 福崎緑地グランドゴルフ

12/23 前池改修協議

1/6 県議会挨拶

1/9 成人式

1/11 北斎場・星空の郷視察

1/14 (協) 岡山エコシステム市長挨拶

1/19 財政勉強会

1/26 高松城水攻めCG/動画視聴

2/3 ワクチン接種

2/14 議会運営委員会

3/2 2月議会代表質問

Topic 3 文化財と観光の融合

高松城址公園の魅力向上事業

- ●歴史公園である高松城址公園の資料館整備
- ●桜の植え替えの実施
- ●公園トイレの水洗化

史跡造山古墳群保存整備事業

- ●造山古墳の立体的復元整備の調査や、陪塚である千足古墳の保存整備等の実施
- ●前方部の墳丘の舗装による造山古墳の外観及び古墳 上の歩行性の向上
- ●発掘成果などを伝える看板の設置

歴史遺産を活用した観光誘客事業

- ●岡山市の歴史遺産 について、その価値やエピソードなどを観光的視点を踏まえて発信する特設サイトを制作

<6つのテーマ>
① 古代吉備の不思議
② 高松城水攻めの攻防
③ 岡山城形成
④ 名水銘酒の里
⑤ 東大寺再建の瓦製造
⑥ 児島湾干拓と開墾

松田たかゆき 事務所

TEL&FAX / 086-287-5697

〒701-1333　岡山市北区立田140番地8

HP：http://www.takayuki-matsuda.com

mail：t-matsuda@takayuki-matsuda.com

■プロフィール
- 岡山工業高校　機械科卒業
- 三井造船（株）玉野造船所
- 岡山市役所
  建築設備の設計施工管理
  廃棄物・地球温暖化対策事業
  ESD 国際会議誘致等
- （公財）岡山市ふれあい公社
- 2015年　岡山市議会議員 初当選
- 2019年　岡山市市議会議員　二期目当選
- 2021年　高松土地改良区理事長

■所属委員会
- 子ども・文教委員会
- 議会運営委員会
- 地域・まちなか未来調査特別委員会

日々の活動日記更新中！
松田たかゆき

市政または地域のことについてご相談・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

令和3年11月定例市議会 質問と答弁（抜粋）

1.ESD・SDGsについて

Q　SDGsは極めて抽象的です。市民の認知度、理解度、達成度はどうか。岡山版ターゲットや、SDGs紹介パネルを作成しませんか。

A　認知度は高まっているが、理解度はまだ低い。達成度は、岡山市SDGs未来都市計画で掲げた指標では概ね順調に推移している。岡山版ターゲットの作成については今後の検討課題とし、紹介パネルについては参考とさせていただく。

2.交通政策について

Q　高齢者、障害者を対象とした路線バス運賃割引のＩＣカード「ハレカハーフ」の目標数と今年度事業費、事業期間は。難病患者をハレカハーフ対象者に加えていただけないか。

A　今年度の交付数は最大３万枚、事業費は約3.9億円を予算化している。難病患者には、受給者証等が交付されており、対象者が特定できることから交付対象としたい。事業期間は定めていない。

Q　中鉄バス(株)の稲荷山、大井線等の休止が続いてる。今後については。

A　稲荷山・大井線については、バス事業者からは、「運転手が確保でき次第運行を再開したい」との意向を伺っている。市としては、バス路線の維持に向け経営改善を図ることで、運転手不足の解消にも繋げたい。

Q　JR桃太郎線足守駅で、朝方行われていた「自転車等放置防止啓発指導業務」が、令和２年度から廃止されているが、再開してもらえないか。

A　足守駅については、敷地や施設の管理者であるJR西日本が行うべきものと考えており、しっかりと働きかけたい。

3.土地改良区について

Q　土地改良区に期待される役割りと、今後のあり方は。

A　土地改良区は、農業生産基盤を整備する上で重要なパートナーであり、農業施設の適時適切な整備や維持管理において重要な役割を果たしており今後とも必要な団体。

Q　土地改良区の収入状況は厳しい。「土地改良区事務費等補助金」の増額、「土地改良事業交付金」の交付率をアップできないか。

A　市では、土地改良区の徴収賦課金、事務実績を算出根拠に、自助努力に応じて段階的に支援を行う「土地改良区事務費等補助金」や、土地改良事業に伴う借入金の償還額に対して助成を行う「土地改良事業交付金」など十分な支援を講じており、現制度を継続したい。

4.プラごみの資源化等について

Q　プラごみ資源化の検討状況と、1t当たりの収集・資源化経費は。

A　令和5年度内に製品プラと容器包装プラの一括回収、リサイクルを開始できるよう準備している。収集資源化経費は先行都市の平均で収集運搬費が約6万4千円、資源化経費が約3万2千円となっている。

Q　三手最終処分場の位置づけ、点検・再整備は。

A　災害廃棄物の仮置き場の候補地としており、非常時に速やかな運用ができるよう適切な維持管理に努める。

Q　一宮浄化センターの敷地内整備方針と、工事中の砂川橋及び、笹ケ瀬川の野山大橋の整備スケジュールは。

A　敷地内整備については、テニスコートや遊具を設置した広場などの（案）を地元に提示している。砂川橋は、令和7年度の供用開始を目指しており、野山大橋はその後、引き続き整備を行う。

5.令和4年度予算編成について

Q　身近な舗装補修、白線引き、市道縁の草刈り、樹木伐採、交通安全施設の設置、河川の浚渫など、市民の安全・安心に直結する事業費は、必要額を確保すべきでは。

A　地域生活を支えるインフラの維持管理や長寿命化の推進については、長期的な対応も想定されることから、財政運営に及ぼす影響をしっかり見極めていく必要がある。

5.住み続けたいまちづくりについて

Q　空家対策計画（2月改訂）の改訂ポイントと市街化調整区域の空家利活用制限の緩和策は。

A　計画では、空家等の適切な管理の促進、空家の利活用の促進、空家の発生抑制の３つの目標について、それぞれ成果指標を定め、計画の効果を検証する。市街化調整区域の制限緩和については、調整区域の趣旨の範囲内において、既存建物の用途変更に係る要件の緩和について検討したい。

Q　下水道整備について、アクションプラン策定から5年半、進捗状況と、未普及の概成は可能か。

A　アクションプランの目標面積に対し、これまでの5年間で、約50％を完了しており、引き続き残りの約460haの整備に取り組む。現状の整備体制を維持できれば、整備完了は可能。近いうちに吉備津・高松の面整備にも着工予定。

6.子育て・学校教育について

Q　放課後児童クラブの低学年入所保留児童の４クラブ56人は、新年度当初より入所できないか。もっと早く入所ニーズを把握すべきだったのでは。

A　可能な範囲で定員を超えた受入れを行っており、現在も支援員等の確保に努めているが、新年度までに多くの待機児童を受け入れることは困難と考える。令和5年度の入所に向けては、早い時期により実態に即したニーズ把握に努める。

Q　サービスの平準化や支援員の資質向上を求める声に、また、障害などの個別事情を抱える子どものニーズにどう対応して行くのか。

A　クラブ内でのミーティングや公社主催の会議による情報共有、公社や市等が開催する研修の受講を通じて資質の向上を図る。
また、個別の対応が必要な児童に対しては、発達障害等をテーマとした専門研修の実施等により、円滑な対応ができるよう努める。

Q　教職員に長時間勤務が常態化せざるを得ない理由及び、改善策と削減目標は。

A　部活動指導員、学校業務アシストの拡充のほか、自動応答電話の導入による負担軽減、打刻システムの導入による意識改革を図ってきた。長時間勤務の理由は、授業準備、生徒指導、部活動指導が考えられる。来年度は、働き方改革ワーキンググループで、どのような方策が効果的なのか、削減目標の策定も含めて検討したい。

Q　学校便器の洋式化と、手すりの設置、バリアフリー化、冷暖房設備の設置と使用方法は。

A　便器の洋式化は、トイレのバリアフリー化の一環として、手すりの設置、段差解消、床の乾式化と併せて行っており、小中学校の便器洋式化率は49.5％、洋式化率の低い順に全ての小中学校で行う。冷暖房設備は、普通教室を完了し、特別教室への在り方について検討する。夏季は28度、冬季は17度を目安に柔軟に対応している。

令和4年2月定例市議会 質問と答弁（代表質問であり、質問数が多く身近なQAを抜粋）

1.先進的な都市経営に向けて

Q　市のスマート窓口全般の取組実績と、課題、来庁不要の手続きの今後の取組は。

A　住民票など手数料のキャッシュレス決済、スマートフォンによる証明書のオンライン申請など、窓口のスマート化を進めている。これらICT技術を活用したサービスには、本人確認のためマイナンバーカードの普及が課題。来年度は、オンラインで転出届や転入予約ができるよう住民記録システムを改修する。

Q　VR体験などデジタル技術を活用した観光政策についての所見と取組方針は。

A　今年度、「備中高松城水攻め」に関するVR,映像を制作し、来年度のデスティネーションキャンペーンに合わせて活用。デジタル技術は、新しい観光コンテンツの開発や魅力アップに有効であり、効果的に活用し旅行意欲を掻き立て誘客を進める。

Q　地域防災計画等の抜本改定にかかわる課題と改訂方針、スケジュールは。

A　近年の激甚化、頻発化する災害にも対応できるよう、最新の浸水想定等を基に災害種別ごとの被災想定調査を実施し、その結果等を踏まえ具体性・実行性のある計画となるよう抜本改訂を行う。秋頃にパブリックコメント、令和4年度末に改訂。

Q　個別避難計画作成モデル事業における対応と、全市に展開するスケジュールは。

A　モデル事業では、訪問・聞き取り・調整会議・避難訓練という手順で試行し、課題や対応策の検討を行い、成果を基に手引書を作成している。来年度手引書を活用し作成を進める。

Q　南海トラフ地震の想定はマグニチュード8～9、岡山市では震度6とも言われている。発災時の上水道の地震対策と進捗状況は。

A　南海トラフ巨大地震による水道被害は、被災直後に最大で47万人の断水を想定しており、避難所等への応急給水を円滑に行うとともに、応急復旧工事を進め、4週間を目途に通常給水できるよう努める。この５年間で、基幹管路の耐震適合率は49.4％、主要ポンプ場では52.0％を予定している。

2.新型コロナウイルス対策について

Q　オミクロン株の濃厚接触の要件と、ワクチン接種後に感染した人の割合は。

A　濃厚接触者の該当要件は、「手が触れることのできる距離で、感染予防策なしで患者と15分以上の接触があったもの」とされており、オミクロン株においても変更されていない。全国で1月31日から2月6日までの1週間の感染者うち、2回目ワクチン接種済者は約47％でした。

Q　学級閉鎖の統一ルールは。自宅待機の子ども達に対するフォロー対応と、オンライン授業導入は。

A　陽性者が特定され、発症後に登校登園している場合は、原則、最終登校登園日の翌日から4日間学級閉鎖となる。教員が電話連絡等で様子を把握している。学びの保障の1つとして端末の持ち帰りも可能としている。オンライン授業については、機器の配備やプライバシーへの配慮など検討している。

3.市民の健康と安心・安全について

Q　eスポーツを活用した取組は検討しているか。市で独自でデータ取得すれば。

A　調査はしていないが、他都市の状況からは一定の効果が期待できると考える。一部の公民館で取組んでおり、今後は、高齢者の活動の場における活用についても検討したい。そうした機会には参加者の声も把握したい。

eスポーツはテレビゲームを用いた競技で高齢者の健康づくりに有効とされる。

Q　おかやまケンコー大作戦の成果及び、再度、実施のお考えは。

A　「体を動かす習慣づくり」の契機として、平成26年から「健康ポイント事業」を開始、今年度は、約1万4千人の方が参加し、地域の銀行やヘルスケア関連事業者などと取り組んだ。
来年度以降もこの事業を継続したい。運動や食生活改善を促す方法や、自転車活用の可能性も含め検討中。

Q　「岡山市男女共同参画相談支援センター」で24時間、DV被害者相談を受けているが、シェルターの準備及び、SNSやメール相談は。

A　緊急一時保護のシェルターは3カ所を確保している。若手層への配慮として、SNSやメールによる相談を実施予定。

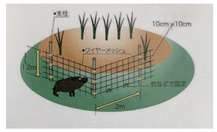
4.観光誘客と地域経済について

Q　岡山芸術交流2022について、開催のポイント及び、集客策は。

A　キーワードは、「地元」そして「子ども」とし、地域への浸透や人づくりを積極的に推進し、持続可能なイベントにしたい。会期中に岡山城リニューアルオープンや、瀬戸内国際芸術祭もあり、歩いて楽しむことができる会場配置や前衛的な作品展示を活かすことで、まち全体に賑わいが生まれることを期待する。前回は延べ31万人の来客がありできるだけ大勢の集客に努める。

Q　岡山市卸売市場では、「市場ブランド」の商品開発と共に、全国に届く情報発信が必要だが。

A　市場は物流の中間点であり、商品開発は実現していなかったが、水産卸売業者が、桃の加工で発生する皮や果肉を魚の餌に配合して育てた「桃鯛」を開発した。さっぱりとした味でSDGsにも貢献しており、県や関係機関にも協力いただきPRに努めたい。

Q　イノシシ対策の捕獲実績と推定生息数調査についてご所見を。

A　捕獲計画数と捕獲実績は、H30年度が4,000頭に対し3,858頭、R元年度が4,500頭に対し4,564頭、R2年度が4,500頭に対し3,874頭、R3年度は9月末で1,863頭の捕獲。H30年度の推定生息数は、11,000頭、年間増加数は3,200頭であり、捕獲が増加を上回っており、減少傾向と考える。来年度に生息数調査を実施し、今後に役立てたい。